

模範的事例集(～R6)

●電気使用量削減についての取組

- ・節電について、所属長が声掛けをしている。不在時は代理の者が声掛けする仕組みを構築している。
- ・PCにオン、オフの記録を取るような貼紙をする。
- ・施設の稼働状況が確認できる電気使用量のグラフを事務所に掲示する。
- ・各部屋のエアコン本体に環境方針及び課の目標を記載した文書を掲示する。
- ・学校に光熱水費を定期的に通知し、見える化を図っている。
- ・業務に支障がない範囲で、事務所内の蛍光灯を自主的に間引きする。
- ・デマンド設定を低く抑えるために、電気使用量の大きい設備のスケジュールを柔軟かつ計画的に設定し、電気使用量のピーク時間を避けて稼働させる。
- ・建物内の廊下やトイレの常時消灯を励行する。
- ・倉庫の電気などは人感センサー付きのものを取り付けるなど節電に対しての取り組みを実施する。
- ・昼休みの消灯は当番制とし、チェック表を手渡しすることにより、毎日引き継いでいる。
- ・電気消費量が多いホール水銀灯の点灯時間が短くなるよう、開館時間や利用者の状況を考慮し、スイッチを入れる時間を他の照明と別にしていく。
- ・共通目標である「昼休みの部分消灯」を各自のノートパソコンに黄色のテプラ（ラベルライター）で貼り付ける。
- ・「緑のカーテン」で室内の気温が上昇するのを抑え、省エネルギー化に取り組む。

●化石燃料使用量削減についての取組

- ・キーボックスに目標を掲示し、エコドライブを啓発する。
- ・省エネ関連の研修を積極的に受講する。

●ごみ減量についての取組

- ・ごみ量の計量結果を目に付きやすいところに掲示し、共通目標の達成状況を確認する。
- ・ごみの計量と記録について、発生元の職員が実施して、日々の発生量を把握できるようにする。
- ・3010運動（食品ロスを減らす運動）を実践する。
- ・食育イベントでごみ減量の取組を実施する。（例：紙皿ではなく陶器を使用。）
- ・学校備品を廃棄する前に、他の施設で使用できるものはリユースしている。
- ・施設内の各会議室にごみ箱を設置せず、利用者に対しても環境意識向上への啓発を行う。
- ・事務所内のゴミ箱を1個に集約（管理職の机の前）及び、ゴミ箱に持ち帰り協力のメッセージを貼る等工夫し、大幅なごみ削減を達成している。
- ・おやつ時間などに、ゴミ分別方法について園児へ指導している。
- ・「持ち込みゴミの持ち帰り」を課内に大きく掲示し、積極的にごみの削減に取り組んでいる。
- ・イベント時にはごみの分別・減量等呼びかけている。
- ・ごみ箱にテプラでスローガンを貼付し、廃棄する前に環境配慮を再認識させる。
- ・廃棄時にごみの内容を2名でチェックし、分別を徹底する。

●その他の取組

- ・講習、研修後のアンケートをIT化（QRコードを読み取りスマホで回答）。
- ・「共通目標管理表」に掲げる目標を共用パソコンに掲載し職員全員でチェックできるようにする。
- ・環境方針をコルクボードに貼り、来庁する市民にも見えるように掲示している。
- ・使用しなくなった図書について、定期的に市民等に配布し、図書のリサイクルを推進している。